

A-11 交通量よりみた女性の社会活動の分析

お茶の水女子大学 辺渡俊男○大出玲子

従来女性は男性に追隨的であり，家庭内において家事全般に採配を振っていた。戦後個人の再発見と共に女性の開放が盛んに叫ばれ社会面に浮び出て活動するものも多くなって来た。

私達は交通量を示票として女性の活動面を調査分析した。その結果，社会が混乱し経済的に困窮している場合

は女性も次第に社会面，或は経済面に関係した社会活動範囲に進出してき，しかも耐久力は強いものである。しかし安定社会に於ては再び多くのものが家庭内にかえって行く傾向がある。

また女性の社会活動は家庭に入るまでのテンポラリーのものが大部分である。有夫，子の年齢層の交通量は殆んど消費面に関係したものであることを知った。